

英語運用能力の育成 ～10校の独自取組と外部検定試験の実績～

資料6

学校	独自取組		外部検定試験			
	主な取組	取組概要	英語検定合格者(受験者)	TOEIC受験者 (最高スコア、平均スコア) 公開：990点満点 IP：990点満点 Bridge：180点満点	TOEFL受験者 (最高スコア、平均スコア) iBT：120点満点 ITP Level 1：677点満点 ITP Level 2：500点満点 Junior：900点満点	その他
北野	<ul style="list-style-type: none"> 「授業を変える」取組の充実 「使える英語プロジェクト事業」への積極的参加 「学内留学講座」の実施 	<p>1・2年生の授業で電子黒板を活用したり、オーラルの授業の一部でALTと独自教材の活用により授業をすべて英語で実施するなど、「授業を変える」取組が充実している。</p> <p>また、Advanced Class に前期29名・後期13名の生徒が参加するなど、「使える英語プロジェクト事業」による英語運用能力向上の機会をフルに活用した。</p> <p>民間教育機関を活用した「学内留学講座」を3回実施し、48名の生徒が海外大学の一般教養の授業体験を行った。</p>	2級24名 準2級12名 (120名)	公開 5名 (最高595、平均490) IP 42名 (最高900、平均435.7)	ITP Level 1 1名 (スコア607) Junior 2名 (最高785、平均772.5)	
豊中	<ul style="list-style-type: none"> 「英語リスニング対策講座」「TOEIC TEST対策講座」「英語プレゼンテーション講習」の実施 英国語学研修の充実 留学生との交流 	<p>民間教育機関を活用した「英語リスニング対策講座」を開始した。1年から3年まで計183人が参加し、楽しみながら大量のリスニング問題に触れることができたため、ほぼ全員が肯定的な評価をしている。「TOEIC TEST対策講座」「英語プレゼンテーション講習」を実施し、ともに3～4日間の集中講座でレベルも高かったが、TOEIC受験者も増え、実践的な英語の習得に効果があった。「英国語学研修(34人参加)」は2年目で、事前学習をより充実させて、英語学習だけでなく、異文化理解と日本文化を見つめ直す機会となった。「留学生との交流」は、英語のコミュニケーション力向上の取組の一環として、本校生徒58人と15人の阪大留学生とがそれぞれの国と文化の紹介を行い、交流を図った。</p>	2級9名 準2級7名 (18名)	IP 8名 (最高575、平均489.4)	Junior 1名 (スコア755)	
茨木	<ul style="list-style-type: none"> ディベートを取り入れた英語授業の実施 大阪大学留学生等との交流 海外修学旅行への取組 	<p>2年生の英語授業では、「原発の是非」等のテーマについて資料収集からディベート実施までを英語で行ったり、希望者対象プログラムにおいて、1年生は海外修学旅行での交流を見据え「世界の貧困」等の6テーマについて英語で理解を深めるとともに、英語プレゼンテーションの技術を身につけ、2年生は「死刑廃止」等のテーマで英語によるディベートの技術を学び、実践した。また、1年生全員が、阪大留学生や地域に在住するの外国の方々60名以上と英語で交流する機会を設けるなど、英語で表現する力やコミュニケーション力の育成のために、さまざまな取組を行っている。</p>	準1級2名 2級14名 準2級6名 (26名)	公開 11名 (最高655、平均483.6) IP 18名 (最高745、平均513.6)	Junior 2名 (最高755、平均750)	
大手前	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流の受入れ 海外研修の参加機会の充実 	<p>1年オーラルコミュニケーションIの授業において、5月は英語でのCM制作・発表、9月は「地球環境サミットでのスピーチ」をレシテーション発表、11月The Carterville Ghostの一部をレシテーション発表を実施。2月SSH科目「まこと」での環境問題プレゼンテーション発表などを実施。さらに、SSHのマレーシア海外研修、シンガポール語学研修、ウェルズの姉妹校との交流等の実施など海外への研修をはじめ、校内においてはネイティブによるコミュニケーション講座「プラクティカルイングリッシュ」を実施した。毎年140名程の生徒が海外研修に参加するなど、英語運用能力や国際性をはくむ取組が充実している。</p>	2級9名 準2級6名 (16名)	公開 2名 (最高570、平均495) IP 6名 (最高785、平均478.3)	iBT1名(スコア97) ITP Level 1 1名 (スコア517) Junior 5名 (最高820、平均761)	<ul style="list-style-type: none"> SLEP 受験者1名 (47点/67点満点) British Council CEFR 受験者1名(Reading:C2 Writing:B2 Listening:C2)
四條畷	<ul style="list-style-type: none"> 「英語コミュニケーション集中講座」の実施 海外修学旅行の工夫 海外交流校生徒の受入れ 	<p>1年全員参加の学習合宿における「英語コミュニケーション講座」では、ネイティブ講師を活用し、少人数での「英語づくりの生活」の機会を設けている。英語活用の機会を増やすため、台湾修学旅行では現地交流校の生徒との1対1の交流を行い、オーストラリア研修では生徒20名が現地高校生と交流している。また、修学旅行、オーストラリア研修のそれぞれの交流校の生徒を受入れ、イングリッシュキャンプを行うなど英語を通じての交流活動を広げている。</p>	2級3名 準2級5名 (16名)	IP 13名 (最高850、平均429.6) Bridge 171名 (最高170、平均137.9)	-	
高津	<ul style="list-style-type: none"> 「英語コミュニケーション講座」の実施 英語関連各種検定の自主的な受検 	<p>夏期休業期間の「英語コミュニケーション講座」では、生徒全員を少人数のグループに分け、1年生の日常の単語・フレーズ運用レベル、2年生の簡単な英語によるスピーチ・ディスカッションレベル、3年生の意見を正しく論理的に述べるレベルと、到達目標を定めて実施している。</p> <p>外部検定試験については、多くの生徒が実用英語技能検定を受験しただけでなく、TOEIC Bridgeを受験する生徒もいた。</p>	2級19名 準2級65名 (166名)	Bridge 20名 (最高172、平均151.9)	-	
天王寺	<ul style="list-style-type: none"> 英語による課題研究発表の充実 「英語プレゼンテーション講座」の実施 海外セミナーツアーの充実 「使える英語プロジェクト事業」への積極的参加 	<p>1年生では、保健授業でグループで調べ学習した課題研究を、さらに英語で発表し合う取組を初めて実施し、英語でのプレゼンテーション力向上を図った。また2年生の科目「創知I」では環境問題について英語でプレゼンテーションを行った。「英語スーパーレッスン」を実施し、受講生徒は、カナダのアルバータ国立大学への夏期研修において、研修内容のプレゼンを英語で行うなどその成果を発揮した。さらに韓国 慶南女子高校の来校時にも、両校が英語で課題研究を発表し合い、英語によるプレゼン・ディスカッション力育成を図った。これらの内容は英字新聞(Science Journal)に掲載し、共有を図っている。</p> <p>Advanced Class には前期・後期で32名の生徒が参加し、「使える英語プロジェクト事業」をしっかりと活用し英語運用能力向上に取り組んだ。</p>	2級3名 準2級11名 (16名)	IP 65名 (最高725、平均467.2)	ITP Level 1 1名 (スコア457) ITP Level 2 1名 (スコア258)	<ul style="list-style-type: none"> ACE 受験者1名 (610点/900点満点)
生野	<ul style="list-style-type: none"> 「英語集中講座(イングリッシュキャンプ)」の実施 「英会話チャレンジ講座」の実施 海外スタディツアーの充実 英語検定試験の受検奨励 	<p>1年生全員を対象として2日連続で計560分の「英語集中講座」を7月に実施。ネイティブ講師による少人数指導により本物の英語に触れさせ、英語学習への意欲向上を図っている。</p> <p>また、英語集中講座や海外スタディツアーを踏まえ、意欲のある1・2年生希望者を対象として、英語活用能力の一層の向上を図るため、放課後に週1回の「英会話チャレンジ講座」を開講した(年間で18回、61名参加)。</p> <p>また、1・2年生希望者対象の、オーストラリアへのスタディツアー及びサイエンスツアーでは、ホームステイ体験や現地高校での交流・研究所での研修活動を通して国際感覚を養い、英語活用能力の向上を図った。</p> <p>さらに、英検の受検を奨励し、1年生360人のうち347名、2年生362人のうち281名の生徒が2級及び準2級を受検し、多数合格している。</p>	2級112名 準2級193名 (628名)	-	-	
三国丘	<ul style="list-style-type: none"> 海外スタディツアーの充実 「TOEFL講座」の実施 「TOEIC」の取組の充実 	<p>1・2年生希望者対象のオーストラリアスタディツアーでは、カンタベリー大学の授業を受講し、また、オーストラリアサイエンスツアーでは、連邦科学教育センターでの研修を受講した。</p> <p>また、専門学校と提携し、希望者対象の「TOEFL講座」を開設したことで、TOEFL PBT(310～677)、TOEIC(10～990)、TOEFL Junior(600～900)を受験する生徒が出てきている。特にTOEICに関しては授業においても取り組むことが出来た。</p>	2級8名 準2級4名 (12名)	IP166名 (最高900、平均461)	Junior 43名 (最高795、平均725)	
岸和田	<ul style="list-style-type: none"> 「インテンシブ研修」の実施 英語検定試験の受検奨励 「使える英語プロジェクト事業」への積極的参加 	<p>1・2年生の希望者に対して「インテンシブ研修」(3時間×3日)を年2回行った。習熟度別に4段階に分け日常の会話レベルから、簡単な英語によるディスカッションやプレゼンテーションに至るまでを各班ごとに目標を設定し研修を行った。また、オーストラリア語学研修を実施し、1人1家庭のホームステイでの語学研修を行った(事前・事後研修も10回行う)。</p> <p>1・2年生の学年団に各4名の国際係が、台湾海外修学旅行における交流活動の事前学習など英語教育の充実に向けた組織的な取組を進めている。また、英検の受検を奨励し、多数の生徒が受検、合格している。Advanced Class には11名の生徒が参加した。</p>	2級29名 準2級42名 (106名)	IP 1名 (スコア320)	-	